



ビニールハウスを活用した養鶏場の整備を進める酒井さん
＝西伊豆町宇久須

ビニールハウスで養鶏

地域協力隊 退任見据え準備 酒井さん

西伊豆

耕作放棄地を活用した農業振興などに取り組む西伊豆町地域おこし協力隊の酒井宏治さん(52)が約1年後に迎える任期満了を見据え、養鶏場の整備を同町宇久須の山で進めている。将来的には起業し、卵のブランド化を目指す。かつてカーネーションが栽培されていたビニールハウスを活用した養鶏場で、このほど一部が完成した。

卵ブランド化目指す

酒井さんは、加工の幅が広い卵に可能性を感じ、30代から養鶏について独学で学んできた。ストレスなく育てるため、より自然に近い環境の「平飼い」で飼育する。約230平方メートルに300羽を育てる計画だ。

ビニールハウスは長年放置されていたため雑草やごみが多く、1年ほど前から整備を進めてきた。コンクリートなどを使って基礎工事から取り組み、木材も組んだ。土にもみ殻などを混ぜて地面を柔

らかくし、産卵箱は知人から譲り受けた茶箱で製作した。

今夏には全4区画が完成する予定で、同時にヒヨコの飼育も始める。

今後は養鶏を中心に耕作放棄地を活用した田んぼや畑での野菜、米作りも継続する。最終目標は町内でオムラ

イス店を開くことという。

酒井さんは「学校給食にも卸し、子どもたちにも卵拾いなども体験させたい」と地域貢献も視野に入れ、「目指していた構想に近づいてきてホッとしていい」と話した。



道場生6人東

空手「昌空館」県

松崎町江奈の日本空手協会西伊豆支部「昌空館」の道場生6人が、藤枝市の県武道館で開

かれた同協会県空手道選手権大会で好成績を収めた。6月に三重県で開かれる東海大会、群馬県で7月開催の全